

公益財団法人京都市国際交流協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 千玄室

2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

3 電話番号

075-752-3010

4 ホームページアドレス

<https://www.kcif.or.jp/>

5 設立年月日

平成元年1月18日

6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局国際化推進室（TEL075-222-3072）

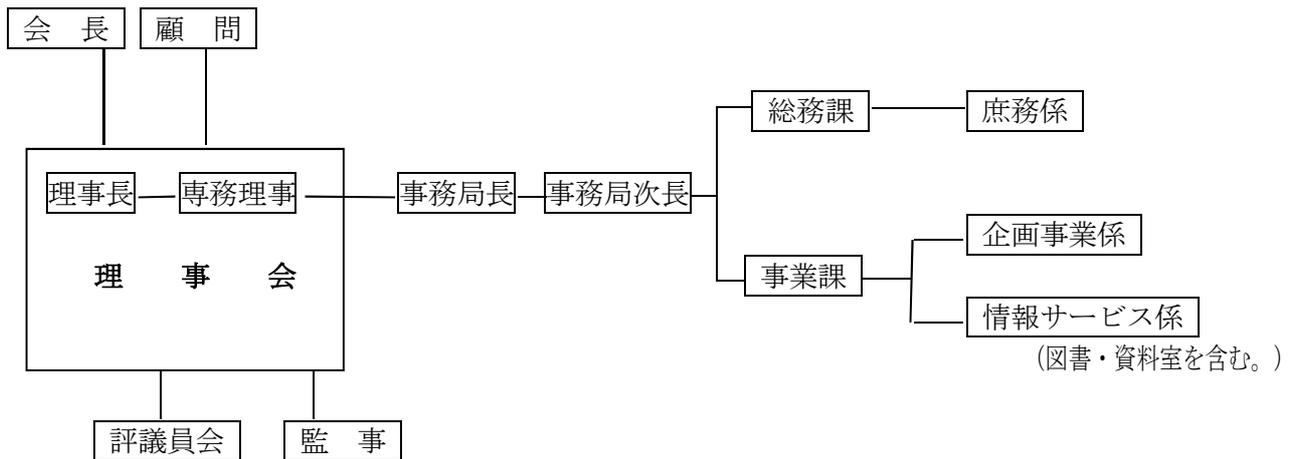
10 役員名等

- (1) 理事長
千玄室
- (2) 専務理事
藤田裕之
- (3) 理事
有田典代，小川伸彦，陳萍，高田光治，仲尾宏，浜田麻里，
山口ひかり（総合企画局国際化推進室長）
- (4) 監事
中村健児，奥井拓史（総合企画局総合政策室長）

11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 令和元年度決算

(1) 事業報告

- ア kokoka30周年記念事業
 - (ア) 30周年記念セレモニー及び記念事業
- イ 市民への情報提供, 相談事業
 - (ア) 情報サービス関連
 - (イ) 図書・資料室の運営
 - (ウ) 相談関連(「京都市外国籍市民総合相談窓口」等)
- ウ 国際交流団体等との連携事業
 - (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク(kokoka国際交流団体ねっと)
 - (イ) 企業等コラボ事業
 - (ウ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援
- エ 共生社会を促進していくための担い手育成事業
 - (ア) ボランティア活動育成事業
 - (イ) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
 - (ウ) インターン受入事業
 - (エ) 社会見学受入事業
 - (オ) 地域でつながる日本語教室事業
- オ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業
 - (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
 - a 「チョゴリときもの」
 - (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
 - a kokoka オープンデイ 2019～今から ここから あなたから～
 - b 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
 - c 開発教育入門セミナー ～Think Globally, Act Locally 足元と世界をつなぐ～
 - d 国際理解教材の貸出
 - e 子どもワールドフェスティバル
 - f 世界の絵本展「みつけてみよう!アメリカ・ボストンのフシギとビックリ!」
 - g 京都につながる世界歴史都市絵本展
 - h KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
 - i やさしい日本語(初心者向け日本語学習講座)
 - j Enjoy! Kimono(キモノ着付け講座)

- k ほっこり BOOK カフェ
- l Malam Indonesia インドネシアの夕べ 2019
- m 学生英語交流企画
- n 多言語情報発信サポート事業
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
 - a 医療通訳派遣事業
 - b コリアンサロン「めあり」
 - c 外国人のための住宅支援事業
 - d 外国籍市民コミュニケーション支援事業
(行政通訳・相談事業, 京都市新生児訪問等通訳者派遣)
 - e 子育て応援プロジェクト(外国人保護者を対象にした子育てに関する情報提供セミナー, 地域の子育て支援団体による親子参加型プログラム, 子育て関連団体連携会議)
 - f 災害時における外国籍市民支援(「地震・緊急時行動マニュアル」の配布, 「kokoka 防災訓練 2019」の実施, 「京都市総合防災訓練」への参加, 「多言語便利情報」の運営, 京都市避難所/広域避難場所 Map の配布, 防災カフェの実施)
 - g 多文化コミュニティ協働事業
 - h 錦林東山学区民体育祭への参加
 - i グローバル婚活 koko コンセミナー
- カ 留学生との協働, 留学生への支援, 留学生との交流事業
 - (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
 - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
 - (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
 - (エ) 留学生のための就職支援事業(新型コロナウイルス感染予防のため中止)
 - (オ) 留学生受入環境整備事業
 - (カ) 外国人歓迎会
- キ 広報・出版・広告事業
 - (ア) 年報『Annual Report』等の発行
 - (イ) 京都市避難所/広域避難場所 Map 等の配布
 - (ウ) 『LIFE IN KYOTO』の発行
 - (エ) 『kokoka 子育て応援 BOOK』の発行
 - (オ) kokoka 京都市国際交流会館サービス案内冊子『あなたのくらしをサポートします』の発行
 - (カ) インターネットによる情報受発信事業
 - (キ) SNS による情報受発信事業
 - (ク) 広告関係
- ク 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
 - (ア) 世界の絵本展「みつけてみよう! アメリカ・ボストンのフシギとビックリ!」(再掲)
- ケ 京都市国際交流会館の運営
 - (ア) 貸施設関係
 - (イ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
 - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (エ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画
 - (オ) 「春! kokoka おもてなし広場」の実施(日本庭園の無料開放を実施)
- コ 理事会等の開催

(2) 財務諸表

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	47,632	46,027	1,605
未収金	1,039	1,189	△150
前払金	0	160	△160
流動資産合計	[48,671]	[47,376]	[1,295]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	100,000	100,000	0
基本財産合計	(100,000)	(100,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	70,271	75,146	△4,875
特定事業運営基金	100,000	100,000	0
特定資産合計	(170,271)	(175,146)	(△4,875)
(その他固定資産)			
定期預金	2,100	2,100	0
投資有価証券	29,950	29,946	3
什器備品	343	61	281
絵画等	9,700	9,700	0
その他固定資産合計	(42,093)	(41,808)	(285)
固定資産合計	[312,364]	[316,954]	[△4,590]
資産合計	361,036	364,331	△3,295
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,554	3,059	8,494
預り金	1,108	2,178	△1,070
前受金	12,790	12,946	△156
賞与引当金	9,969	9,948	22
流動負債合計	[35,421]	[28,131]	[7,290]
2. 固定負債			
退職給付引当金	89,045	95,519	△6,474
固定負債合計	[89,045]	[95,519]	[△6,474]
負債合計	124,466	123,649	816
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出捐金	100,000	100,000	0
寄附金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	[200,000]	[200,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[36,570]	[40,681]	[△4,111]
正味財産合計	236,570	240,681	△4,111
負債及び正味財産合計	361,036	364,331	△3,295

正味財産増減計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,262	1,262	0
特定資産運用益	2,094	3,108	△1,014
事業収益	246,930	248,949	△2,019
受取補助金等	27,657	18,207	9,450
受取寄附金	1,943	1,450	493
雑収益	275	271	4
委託料収益	9,002	6,886	2,116
経常収益計	289,162	280,132	9,030
(2) 経常費用			
事業費	284,630	277,375	7,255
管理費	8,574	16,166	△7,592
経常費用計	293,204	293,541	△337
当期経常増減額	△4,041	△13,409	9,368
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△4,041	△13,409	9,368
法人税等	70	0	70
当期一般正味財産増減額	△4,111	△13,409	9,298
一般正味財産期首残高	40,681	54,090	△13,409
一般正味財産期末残高	36,570	40,681	△4,111
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	236,570	240,681	△4,111

2 令和2年度事業計画

(1) 事業概要

ア 市民への情報提供、相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連（「京都市外国籍市民総合相談窓口」等）

イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク（kokoka 国際交流団体ねっと）
- (イ) 企業等コラボ事業
- (ウ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) ボランティア活動育成事業
- (イ) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
- (ウ) インターン受入事業
- (エ) 社会見学受入事業
- (オ) 学生交流企画
- (カ) 光華女子大学講師派遣

エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解を促進するための交流活動
 - a kokoka オープンデイ
 - b 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
 - c 開発教育入門セミナー
 - d 国際理解教材の貸出
 - e 世界の絵本展
 - f 京都につながる世界歴史都市絵本展
 - g KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
 - h KYOTO・ふれあい講座「Enjoy Kimono!」
 - i KYOTO・ふれあい講座「Let's try Ikebana!」
 - j やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）
- (イ) 多文化共生社会へのまちづくり
 - a 医療通訳派遣事業
 - b コリアンサロン「めあり」
 - c 外国人のための住宅支援事業
 - d 外国籍市民コミュニケーション支援事業
（行政通訳・相談事業、京都市新生児訪問等通訳者派遣）
 - e 災害時における外国籍市民支援（「地震・緊急時行動マニュアル」等の配布、
「kokoka 防災訓練」の実施、「多言語便利情報」の運営、防災 café、災害時における
外国籍市民等の防災体制整備事業）
 - f 多文化コミュニティ協働事業
 - g 子育て応援～つながる、kokoka キッズスペース
 - h グローバル婚活 koko コンセミナー
 - i 錦林東山学区民体育祭への参加
 - j 多言語情報発信サポート事業

オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業

- (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
- (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
- (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業

- (エ) 留学生のための就職支援事業
 - (オ) 外国人歓迎会
 - (カ) 留学生受入環境整備事業
(ウエルカムパッケージ, 優待プログラム, 京都市留学生いきいき人材バンク)
- カ 広報・出版・広告事業
- (ア) 年報『Annual Report』等の発行
 - (イ) 京都市避難所／広域避難場所 Map 等の配布
 - (ウ) 『LIFE IN KYOTO』の発行
 - (エ) 『kokoka 子育て応援 BOOK』の配布
 - (オ) kokoka 京都市国際交流会館サービス案内冊子
『あなたのくらしをサポートします』の配布
 - (カ) インターネットによる情報受発信事業
 - (キ) SNS による情報受発信事業
 - (ク) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営
- (ア) 世界の絵本展
- ク 京都市国際交流会館の運営
- (ア) 施設管理及び貸出施設の運営
 - (イ) 京都市国際交流会館の前庭広場等の活用
 - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (エ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画

(2) 予算

正味財産増減予算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
特定資産運用益	2,300	4,200	△1,900
事業収益	257,596	249,138	8,458
受取補助金等	18,927	19,300	△373
受取寄附金	3,683	3,083	600
委託料収益	9,445	24,592	△15,147
雑収益	202	202	0
経常収益計	294,153	302,515	△8,362
(2) 経常費用			
事業費	301,218	314,697	△13,479
管理費	8,999	8,599	400
経常費用計	310,217	323,296	△13,079
当期経常増減額	△16,064	△20,781	4,717
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	80	80	0
当期一般正味財産増減額	△16,144	△20,861	4,717
一般正味財産期首残高	40,613	38,165	2,448
一般正味財産期末残高	24,469	17,304	7,165
II. 指定正味財産増減額の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	224,469	217,304	7,165

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	282,065	280,132	289,162	294,153
	当期経常増減額	△8,349	△13,409	△4,041	△16,064
	当期正味財産増減額	△8,349	△13,409	△4,111	△16,144
貸借対照表	総資産	371,196	364,331	361,036	
	総負債	117,106	123,649	124,466	
	正味財産	254,090	240,681	236,570	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (予算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 (指定管理) (※)	191,986	191,986	190,736	192,486
	行政通訳・相談事業	2,470	2,470	4,565	
	多言語情報発信サポート事業			352	
	平和祈念事業	452	786	724	
	乳幼児健診等への通訳派遣	1,078	1,458	1,169	
	留学生受入環境整備事業 (優待プログラム, ウェルカム・パッケージ)			3,361	
	留学生優待プログラム	1,480	1,480		
	来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」		1,650		
	国際文化市民交流促進サポート事業	300	300		
	日本語学習支援事業	200	200		
補助金	京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業	11,827	12,091	13,000	13,000
	リユース食器利用促進助成金	105	105	45	
	京都市外国籍市民総合相談窓口事業			8,411	630
その他	医療通訳派遣事業	4,539	4,582	4,700	4,700

(※) 利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">令和元年度は、当期経常増減額が4,041千円の赤字となっており、平成29年度以降、3年連続で赤字を計上している。平成30年度の赤字（13,409千円）と比較すると、少し改善されているようにも見えるが、実際には、退職引当金の減少によるところが大きい。また、令和2年度予算も16,064千円の赤字見込みとなっており、財政状況は引き続き厳しい状況にある。
事業面	<ul style="list-style-type: none">令和元年度は、開館後30周年を記念し、施設の拡充（キッズスペースや多目的ルームの新設など）に合わせた記念事業を行うなど、今後の国際交流・多文化共生につながる取組を実施されたことは大いに評価したい。また、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の開設・運営や、HP等を通じた外国籍市民等への多言語情報発信など、外国籍市民等をサポートする事業を展開している点は高く評価でき、これらの事業は新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況においても、非常に重要な役割を果たしていると考えられる。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">前年度より赤字幅が減少したものの、3期連続で当期経常増減額が赤字となっている。収支構造の抜本的な見直しにより、慢性的な赤字体質を脱却することが急務である。
事業面	<ul style="list-style-type: none">入館者数やイベント参加人数が年間目標を下回るなど、苦戦が続いているものの、補助金や寄付金の獲得については、目標を大きく上回る成果を挙げており、評価できる。